



いのぼ～るの彼女

伊野-INO-

～やって未来こい!

いのの ENO暮らし2030～



いのぼ～る

発行：伊野コミュニティセンター

〒691-0072 出雲市野郷町 492-5
Tel：(0853) 69-1526 Fax：(0853) 69-1530
E-mail：ino-cc@local.city.izumo.shimane.jp

伊野コミュニティセンター
ホームページ



伊野地区自治協会
ホームページ



伊野地区自治協会
Facebook



伊野地区自治協会
Instagram



一伊野地区の人口一
(R3.8月末現在)

男性… 587人
女性… 643人
合計… 1,230人
世帯数… 419世帯

今年の災害で思うこと

伊野地区災害対策本部 本部長 錦織 宏

7月の大雨と8月の台風で伊野地区でも被害が多くありました。被害を受けられた皆様には心からお見舞い申し上げます。さて、今回の災害を通して感じたことがあります。



道路の陥没により通行止めとなった伊野本線



落石により通行止めとなった伊野本線

今回、避難所に初めて避難された方が4家族12人ありました。もう少しあるのかと思いましたが、迷っている人もあったのかもしれません。避難所は不便で不自由なところというイメージもあるのかもしれません。避難にあたっては、事前に調査とシナリオを準備しておくことが大切とされています。

まず、自分の住んでいる場所が安全かどうか調べたうえで、安全でないということが判明すれば、どこに避難するのか、どのタイミングで避難するのかを決めておくというものです。

7月、8月の大雨は異常気象によるものであると気象庁から発表がありました。

つまり、今まで土砂災害が発生していなくても、今後は発生する可能性があるということになります。災害で最も大切なことは生命を守ることです。

今、一度避難について考えていただければ幸いです。個別のご相談も受け付けますので遠慮なくお申し出ください。



土嚢づくりをする消防団員

2点目は、町内との連携です。

今回の災害では宅地への土砂流入や田畑の法面の崩れ等約60件の被害がありました。伊野地区災害対策本部では、被害状況の確認、土のう作りと運搬、倒木処理等の応急対応、本部への被害報告等に携わりました。

被害の規模が大きく件数が増えれば伊野地区災害対策本部のみの対応

では処理ができなくなります。そこで、町内との連携が必要と考えています。町内でできることは町内でやっていただく、地区でやることは地区でやる。情報も町内から地区に報告していただく。地区から町内にも何が起きているのかをお知らせするというものです。現に、町内独自で被害状況を把握し対応にあたっているところもありました。また、町内と地区災害対策本部が連携して避難訓練に取り組んだらといううれしい提案もありました。町内との連携強化を図ることができれば重層的に災害に立ち向かうことが可能になるものと期待しています。



倒木により停電が発生した斐川一畑大社線地合工区



地区災害対策本部設置

やらって未来こい!通信

続報

8/1

9家族30名参加

親子で竹細工とそうめんランチ 教育部会

子どもの遊びをつくりだそうと活動している教育部会。夏休みは空き家「垂水邸」で竹細工に挑戦!竹の切り出しから始まり、悪戦苦闘しながら竹ぼっくりや箸、おわんづくりに挑戦。汗をかいた後はお待ちかねのそうめんランチ。手作りの竹の器と箸で食べるそうめんは格別。夏のひと時、古民家で親子連れの賑やかな声が響いていました。次回は10月にロケットストーブづくりを行う予定です。



8/4

8/5

8/6

30名参加

小学生対象プログラミング教室 教育部会



2020年度から子どもたちの論理的思考力や創造性、問題解決能力等を育てるために必修化された小中学校のプログラミング教育。これに合わせ、教育部会では一般社団法人「チェノワ」と共催でプログラミング教室を開催。3日間合わせて30名の児童が「スマウルビー」というアプリを使ったプログラミング体験を行いました。このアプリはインターネットから誰でもダウンロードできるそうです。今回参加できなかった方は、ぜひご家庭で試してみてください。

「草刈り」 7/4

「種まき」 8/1

「草取り」 9/5

耕作放棄地復活プロジェクト 農水部会



耕作放棄地となった田んぼをソバ畑に蘇らせ、美しい景観を取り戻そうと農水部会が始めた耕作放棄地復活プロジェクト。県外や市外からの参

加もあり、毎回20名以上が活動に参加。初回は草刈り、2回目は種まき、3回目は再び草刈りと草取りを行い汗を流しました。10月にはいよいよ収穫です。回数を



重ねるごとに参加者同士の交流も深まっています。完全無農薬、自然栽培の自家製ソバは一体どんな味がするのでしょうか。楽しみですね。

まちづくりセミナー開催のお知らせ

日 時：10月17日(日)9:30~11:30
場 所：伊野小学校体育館
講 師：日本赤十字社松江支部
テーマ：災害時の弱者支援

日 時：11月15日(月)19:30~21:00
場 所：伊野小学校体育館
講 師：コミュニティデザイナー 山崎亮氏
テーマ：伊野のまちづくり—これからの課題—

どなたでもご参加いただけます。ご希望の方はコミセンまで。

未来こい! ネットの活動の様子は自治協会ホームページの「未来こい! ネット通信」やYouTubeでも紹介しています。ぜひご覧ください。

地域おこし協力隊

福島沙織さん連載 第7回

毎日違う夕日は、最高のエンターテインメント!

先日、山里波さんでランチをいただきました。税込950円のサービス定食を前に、「こんなにたくさん食べられるかしら…」という心配もつかの間、べろりと平らげた後、お冷で一服。窓際の席でひとり、宍道湖の水面がキラキラと揺れるのを見ていたら、なんだか胸がいっぱいになりました。そして、教えてあげたいな、と。移住を前に心配のかたまりだった数年前の私に、「大丈夫、そんなに怖がることはないよ」と。

新聞やローカルテレビに取り上げられれば「見たよ〜」と声をかけて下さる皆さんのやさしさ。よっ得!?伊野いちに顔を出せば、私の役割もおやつも、ちゃんとある。コミセンのドアを開ければ、「最近どーお?」と気にかけてくれる職員の皆さん。楽しいことを一緒に考えてくれたり、ささいなことでも相談のってくれる友達。伊野暮らしには、そうした、心がぽっと温かくなる小さな瞬間が、日常の中に散りばめられています。そのおかげで、私は「今」を肯定できる。

伊野に移り住んで、もうすぐ1年半。毎日の運転にドキドキしたり、家の軒下にスズメバチが巣を作ったり、気軽に入れるカフェが近くなかったり、都会暮らしと比べて困ることも、ないわけではありません。でも、そんなことは吹き飛ばしてしまうような、宍道湖のキラキラでした。

ちなみに、私は山里波さんの駐車場から見る宍道湖が大好きです。時々、食事もしないのに車を停めて写真を撮らせてもらっています(本当にごめんなさい)。こんな景色に出会える人生って、すごい。少なくとも、あのまま、東京・千葉で暮らしていたら出会えませんでした。「今」を肯定し続けられる人生でありたいな、と思います。



伊野郷土誌を読む会

毎月1回
第2木曜日開催



西上町内の常松士郎さん講師の元、昨年度に引き続き2年目の開催となる「伊野郷土誌を読む会」。新たなメンバーも加わり、毎回10名程度の参加者が集い伊野の歴史について学びを深めています。

参加者からは伊野郷土誌の完成度の高さに感嘆する声が聞かれます。

皆さんのご家庭にも伊野郷土誌があるかと思います。随時参加者は募集しています。どなたでもご参加いただけますので、ぜひこの機会に我がふるさと伊野の歴史について一緒に学びましょう。

(コミセン自主企画事業 総務部)

秋冬野菜作り講習会

8/5

浅野種苗園の浅野昌之氏を講師にお迎えし、秋冬野菜を上手に作るコツを学びました。土壌づくりのコツや間引き、追肥のタイミング、害虫対策などについて詳しく教えていただきました。受講された皆さんは今回学んだことを生かしてより一層おいしい野菜ができることでしょうか。楽しみですね。



(コミセン自主企画事業 総務部)



子どもの居場所づくり

★ 夏休み期間中

～いのっ子教室～

長期休業中の子どもの居場所を提供しようと、出雲市放課後子ども教室支援事業を活用した「いのっ子教室」を開催しました。



かわいくできたよ



ルールを守ることは大切だね

上手にできたよ



ストローコースター作りの指導をする兼折治加さん



子どもたちは児童館や体育館、校庭などで元気いっぱい過ごしました。その他、ものづくり教室や英会話体験などのイベントも開催し、楽しく過ごしました。また、夏休み後半には自分たちで話し合っって約束や時間割を作り、誰もがきまりを守って過ごせるようになり、子どもたちの成長ぶりを感じることが出来ました。ご協力いただきました皆さん、ありがとうございました。

シトラスリボンで思いやりの輪を広げよう!

～ただいま、おかえりと言ひ合えるまちに～

出雲市では新型コロナウイルス感染症による誹謗中傷をなくそうとシトラスリボンプロジェクトに賛同しています。伊野地区同和教育推進協議会もこのプロジェクトに賛同。皆様のご協力のおかげで400個のシトラスリボンが完成しました。後日地区の皆様へ配布させていただきますので、ぜひこのリボンを身につけたり、玄関先などよく見える所に飾っていただき、地域・家庭・学校が連携して「ただいま」「おかえり」と言ひ合える、差別のない伊野地区を目指していきましょう。

シトラスリボンプロジェクトって?

このプロジェクトは、「たとえウィルスに感染しても、誰もが地域で笑顔の暮らしを取り戻せる社会にしたい」という願いから愛媛県で始まり、全国に広がっているものです。このリボンは3つの輪から出来ており、「地域」「家庭」「職場・学校」を表しています。愛媛県の特産の柑橘にちなみ、緑やオレンジなどのシトラス色で作られているためこの名がつけられています。

**人と距離を置かなければならないこのコロナ禍
だからこそ、より一層地域の思いやりを大切に、
差別や偏見のない暮らしやすい伊野地区を
みんなで目指しましょう。**

(伊野地区同和教育推進協議会)

リボンが欲しい方はコミセンまで

水引やモールなど様々な素材でカラフルなシトラスリボンができました



赤ちゃん紹介



くらはし ひなた
倉橋 輝向 くん



令和3年5月25日生まれ
父：将大さん、母：愛さん
(金森町内)

—ご両親から輝向くんへのメッセージ—
すくすく元気に育ってね♡

出雲市18万人ポイ捨て一掃大作戦

～ごみゼロ、きれいな伊野を目指して～



毎年10月は「ポイ捨て禁止月間」です。周辺や道路などでゴミを見かけたら、拾って処分し、「ポイ捨てを、しない、させない」よう心掛けましょう。

また、**不法投棄は犯罪**です。除草や樹木の剪定などをこまめに行い、不法投棄をさせない環境づくりにも心掛けましょう。

犬・猫を飼っている皆さまへ「マナー、守れていますか？」

● 排泄物はきちんと処理しましょう。

…飼い犬のフンを放置することは条例で禁止されています。後始末をしない無責任な行動は、周囲に不快な思いをさせます。フンはそのまま放置せず、必ず持ち帰り、新聞紙等に包んで燃えるゴミに出しましょう。

● 犬はリードを着用して散歩しましょう。

…リードがないと事故やケガにつながります。リードを装着することで、周囲の人も車も安心できます。散歩の際は必ずリードを着用しましょう。



● 猫は不妊・去勢手術をしましょう。

…ペットの管理をするのは飼い主の義務です。飼い主としての自覚と責任を持ち、周りに迷惑をかけないようにきちんと管理しましょう。

一人一人がルールやマナーを守り、誰もが住み良い伊野を目指しましょう。

(環境保全連合会伊野支部)

伊野ふるさと探訪 Part25

みやしろはちまん 「宮城八幡」

三ノ谷・松枝町内の小畑組の氏神です。三ノ谷の最奥の松江市に近い処にあります。由緒等ははっきりとはわかりません。例祭は11月15日です。



(郷土誌研究会 常松 士郎)

ふるさと 広場 花盛り



5月に植えたマリーゴールドと百日草。7月には満開となり、赤や黄、オレンジなど色とりどりの花が広場をぐるりと囲み、通りを明るくしてくれました。きれいな花を見ると心も癒されますね。多久和幸広さんには間引きや追肥、水やりなど日々お世話していただきました。ありがとうございました。

伊野小学校環境整備御礼

8/22

PTA主催による伊野小校庭および校舎周りの草取り、草刈りが行われ、地区の皆様も参加してくださいました。夏休みを終え、きれいになった学校で元気いっぱい走り回る、いのっ子たちの声が響いていました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。



事業中止のお知らせ

以下の行事が新型コロナウイルス感染症の影響により**中止**となりました。皆様のご理解をよろしくお願いいたします。

地区民体育大会(9月26日)
伊野地区敬老会(10月3日)
雲州ひらた体育祭(10月17日)
文化祭・いのはやおちらと駅伝(11月7日)
いの～んびりトレイルラン大会(11月14日)

お知らせとおねがい



イベント・事業や会議の様子をカメラで撮影させていただくことがあります。撮影した写真はコミセンや自治協会(ホームページや広報誌掲載等)で使用することがあります。皆様のご理解とご協力をお願いします。なお、不都合のある方はお申し出ください。